

製品化支援室

製品化支援室では、機器利用、依頼試験、研究、特許取得・利用、技術審査等の多岐にわたる事業を実施し、製品化・事業化を支援しています。今年度は「環境試験センター」の整備と温度分野の計量法校正事業者登録を重点に取り組んでいます。

「環境試験センター」を設置しました

「環境試験センター」は機器利用の中でもご利用の多い環境試験機器を整備し、温湿度、電気ノイズ、衝撃等の外部環境に対する製品の信頼性向上に向けた支援を強化するために機器利用室の中に設置しました。

温湿度環境の機器では、結露サイクル試験装置を新設し、ご利用の多い恒温恒湿槽、冷熱衝撃試験装置を増設しました。EMC（電磁環境適合性）試験機は、静電気障害発生器、ファーストトランジェントバーストノイズシミュレータ、雷サージ発生器の3機種を設置し、すでに多くの方々にご利用頂いておりますが、IEC61000-4-2、4-4、4-5規格の最高レベルであるレベル4の試験に対応できる機種を導入します。また、外部からの力学的作用に対する耐久性を評価するために、振動試験機、落下衝撃試験装置を設置しています。その他、観察機器、測定機器、電源等もご利用いただけます。

ご利用時間は午前9時から午後5時までですが、事前のご予約により午後8時までの延長利用が可能です。



図1 各種環境試験装置

信頼性の高い校正証明書を提供します

最近、都内中小企業は製品・部品などの受発注品の高度化、取引の国際化から品質保証・安全性の検証が求められるようになり、これに伴い計測の精度管理のための校正試験が不可欠となってきました。

製品化支援室では、このニーズにお応えするため、昨年12月に電気（直流・低周波）分野における「直流抵抗」で計量法校正事業者登録制度（JCSS）の登録認証を取得しました。今年度はさらに、温度（熱電対）の分野でのJCSS登録認証を目指しています。



産技研は、認定基準としてJIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。産技研は、国際MRA対応JCSS登録事業者です。0184は産技研の登録番号です。

図2 産技研のJCSSロゴマーク

製品開発支援ラボ

中小企業の皆様が製品開発のために複数年にわたってご利用いただける支援室です。ご要望により産技研の研究員が技術的なご支援をします。また、産技研の様々な機器もあわせて、ご利用いただけます。3室ありますが、現在は全てご利用中です。空き室が生じた時にはホームページでお知らせします。

共同研究開発室

産技研と共同研究を実施する中小企業を対象に共同研究開発室を設置し、スピーディで実効性のある研究活動を支援しています。

事業課支援部 製品化支援室 <西が丘本部>

朝倉 守 TEL 03-3909-2151 内線410

E-mail : asakura.mamoru@iri-tokyo.jp